

無鉛はんだ基板量産

対松堂精工、中国工場で

プリント基板設計・組み立ての対松堂精工（愛知県豊川市、田中寛孝社長）は中国の生産拠点で、

環境に影響を及ぼす鉛を使わない「無鉛はんだ」による基板の量産を始めた。納入先からの要望が強く生産量を徐々に引き上げ、二〇〇四年には中国工場で生産する基板の三分の一程度を無鉛にする計画だ。

無鉛はんだによるプリント基板の量産を始めたのは対松堂香港公司の中

国工場（広東省深圳市）。今年五月に専用設備を設置、八月から生産を開始し、主に中国に進出した日系メーカーに販売する。

従来のはんだは鉛とすずを原料にしていたが、鉛の代わりに銀や銅を使

う。

月産約一万八千枚からスタート。複写機やプリンターなど事務機器メーカーに販売する。

九月からは産業機器向けの生産も始め、基板の無鉛化を段階的に進めていく。